

氣排球競技規則

2026—2029

日本輕氣排球協會 李袁忠 編訳

原典：中国排球協會編『氣排球競技規則 2022-2025』北京体育大学出版社（2023）

改訂参照：《氣排球競技規則》（2026-2029）修訂主要条款

目次

※本版は2022-2025版規則に2026-2029改訂主要条款を適用したものです

第1章 コートと器材	6
規則1 競技コート	7
規則2 ネットと支柱	9
規則3 ボール	10
第2章 競技参加者	11
規則4 出場チーム	12
規則5 選手の装備	13
規則6 競技参加者の権利と責任	14
第3章 試合方式	15
規則7 得点方式	16
規則8 試合の組織	17
第4章 試合行為	20
規則9 試合の状態	21
規則10 サーブ	22
規則11 試合中のボールへの接触	24
規則12 ネット付近のボール	26
規則13 ネット付近の選手	27
規則14 アタックヒット	28
規則15 ブロック	29
第5章 試合の中断・遅延・インターバル	31
規則16 正規の試合中断	32
規則17 試合遅延	34
規則18 例外的な試合中断	35
規則19 局間休憩とコート交換	36
第6章 不正行為	37
規則20 不正行為及びペナルティ	38

第7章 審判員の職責と公式サイン	40
規則21 審判員の構成	41
規則22 職務手順	41
規則23 第一審判員	42
規則24 第二審判員	44
規則25 記録員	46
規則26 ラインジャッジ	47
規則27 審判員の公式サイン（フラッグサイン）	48
附件	
付録1 審判員サイン図	49
付録2 ラインジャッジ フラッグサイン図	52
付録3 気排球試合記録表	53

修訂説明

我が国の気排球運動の健全な発展を促進し、対外交流を推進するために、2015年から現在まで全国で使用されてきた「気排球競技規則」（以下「規則」という）の経験をもとに、規則の一部を改訂し、英語版規則を追加した。改訂の過程において、中国排球協会は近年の我が国の気排球運動発展の最新成果を取り入れ、気排球運動の普及ニーズを総合的に考慮するとともに、2017～2020版規則の継続性と一貫性を保持した。2022～2025版規則は、内容・条文の時代性・科学性・実用性を高め、審判員の判定や一般の人々の学習・習得に役立てることを目的とした。本規則の改訂と英語版の追加は、我が国の気排球運動の発展および国際的な普及に、さらなる規範化・指導・促進の役割を果たすことになる。

競技の特性

気排球の試合は、ネットで二分されたコートで行う集団競技である。多様で柔軟な試合方式をとることができ、様々な性質の試合のニーズに対応する。

試合の目的は、各チームが規則に従いボールをネット越しに打ち、相手コートの地面に落とし、自コートの地面に落とされないようにすることである。

試合はサーブから始まる。サーブを行う選手がボールを打ち、ネット上の規定されたネット通過空間を超えて相手コートへ飛ばすことにより試合が継続し、ボールが落地するか、アウトになるか、またはいずれかのチームが合法的にボールを打ち返せなくなるまで続く。

試合はラリーポイント制を採用する。あるチームが1ラリーに勝つと1点を得てサーブ権を獲得し、同時に選手は時計回りに1ポジションローテーションする。

第 1 章

PLAYING AREA AND EQUIPMENT

コートと器材

1 競技コート

競技コートは比賽場区（プレーエリア）と無障碍区（フリーゾーン）を含む。

1.1 面積

プレーエリアは長さ12メートル、幅6メートルの長方形である。その四方には少なくとも幅2メートル（または3メートル）のフリーゾーンが必要であり、地面から上方へ少なくとも7メートルの障害物のない空間を確保しなければならない。

1.2 コート地面

コート地面は平坦・水平・均一でなければならない。選手が負傷する可能性のある障害物があるはず、粗い地面や滑りやすい地面での試合は行ってはならない。

中国排球協会が承認して開催する国際または全国大会では、競技コートの地面は木質または合成素材でなければならない。

1.3 コート上のライン

コート上のすべてのラインの幅は5センチメートルで、その色はコート地面の色と異なるものでなければならない。

1.3.1 サイドライン・エンドライン

2本のサイドラインと2本のエンドラインによってプレーエリアを画定する。サイドラインとエンドラインはいずれもプレーエリアの面積内に含まれる。

1.3.2 センターライン

センターラインは2本のサイドラインの中間点を結ぶ。センターラインの中心線はプレーエリアを長さ6メートル・幅6メートルの2つの等しいコートに分割する。

1.3.3 アタックライン

各コートにはセンターラインの中心線から2メートル離れたアタックラインを1本引く。アタックラインより前（アタックライン含む）が前衛エリア、後ろが後衛エリアである。アタックライン両外側には、間隔20センチメートル・長さ15センチメートルの3本の破線をアタックラインの延長線として引く。2本のアタックライン延長線の間で、記録台側のサイドライン外側のエリアが交代ゾーンである。

1.3.4 サービスゾーン短線

エンドライン後方の2本のサイドライン延長線上に、それぞれ長さ15センチメートル・エンドラインから垂直に20センチメートル離れた短線を1本引く。2本の短線（幅を含む）の間の区域がサービスゾーンであり、サービスゾーンの奥行きはフリーゾーンの端まで延びる。

1.3.5 ジャンプサーブ制限線

1.4 審判台・記録台・チームベンチ

1.4.5 ウォームアップエリア

Diagram illustrating the layout of a volleyball court for a 3x3 tournament, showing dimensions and key areas.

Dimensions:

- Overall Width: 12 m
- Overall Depth: 6 m
- Service Zone Width (each): 4 m (Total 12 m)
- Distance between Service Zone Short Lines: 2 m
- Distance from Side Line to Service Zone Short Line: 1 m
- Distance from End Line to Service Zone Short Line: 1 m

Key Areas and Lines:

- サイドライン (Side Line):** The line defining the width of the court.
- サービスゾーン短線 (Service Zone Short Line):** The lines defining the boundaries of the service zones.
- サービスゾーン (Service Zone):** The area where the ball is served.

Additional Features:

- 審判台 (Referee's Stand):** Located at the top center of the court.
- チームベンチ (Team Bench):** Located at the bottom left and bottom right of the court.
- 記録台 (Record Table):** Located at the bottom center of the court.

8

2 ネットと支柱

2.1 ネット

ネットは垂直にセンターライン上空に設置する。ネットは黒色で、長さ7メートル・幅0.8メートル、ネットの目の長さ・幅はそれぞれ8センチメートルである。ネット上端には幅5センチメートルの二重の白い帆布が縫い付けられており、中間に柔らかいスチールワイヤーロープが通っている。ネット下端はロープで縫い通し、上下端を支柱に引っ張って固定する。ネットの両端にはそれぞれ幅5センチメートル・長さ0.8メートルの帯テープを取り付け、サイドラインに垂直にする。2本の帯テープ外側・ネットの異なる側面にそれぞれ高さ1.8メートル・直径1センチメートルのアンテナ（標志杆）を設置し、ネットより1メートル高く出す。アンテナのネットより上の部分には、10センチメートルごとに赤白交互の色を塗る。

2.2 ネット高

男子ネット高は2.1メートル、女子ネット高は1.9メートル。ネット高はコート中央で測定する。ネット上端の両端の地面からの高さは等しくなければならず、規定の高さを2センチメートル超えてはならない。各レベル・各種大会のネット高は適宜調整することができるが、大会競技規程に明記しなければならない。

2.3 支柱

支柱は円形で滑らかな金属製である。支柱はそれぞれ2本のサイドライン外側0.5～1メートルのセンターライン延長線上に設置する。

3 ボール

ボールは円形で、素材は柔らかい高密度合成皮革、色はカラーである。ボール周囲72～78センチメートル、重量120～140グラム、空気圧0.15～0.18キログラム／平方センチメートル。1試合に使用するボールは同一規格・同一ブランドでなければならない。

第 2 章

PARTICIPANTS

競技参加者

4 出場チーム

4.1 チームの構成

4.1.1 1チームは最大12名で構成され、団長1名・コーチ1名・選手10名を含む。記録表に登録されたチームメンバーのみが競技コートに入場できる。

4.1.2 10名の選手の中の任意の1名がキャプテンを担当することができ、記録表に明記する。

4.2 チームの配置

試合中、チームメンバーは自コート側のチームベンチに座る。補欠選手は自コート側のフリーゾーン外でボールを使わないウォームアップ活動を行うことができる。

5 選手の装備

5.1 ユニフォーム

選手のユニフォームは統一されなければならない、前後に番号が必要で、番号は1～99番とする。胸番号の高さは最低15センチメートル、背番号の高さは最低20センチメートル、番号の線幅は最低2センチメートル。キャプテンのユニフォーム胸部には、ユニフォームと異なる色の幅8センチメートル・幅2センチメートルのマークを付ける。

5.2 運動靴

運動靴はかかとのない柔らかく軽いゴム底靴でなければならない。

5.3 装飾品

負傷の原因となりうるいかなる装飾品も着用してはならない。

6 競技参加者の権利と責任

競技参加者は規則を遵守し、審判員を尊重し、相手を尊重し、観客を尊重し、審判員の判定に従わなければならない。抗議は許可されない。コーチとキャプテンは全チームメンバーの行動と試合風紀に責任を負う。

6.1 コーチ

6.1.1 コーチは試合前に記録表に登録された自チームの選手の氏名・番号を確認して署名し、毎局試合前に該当局の出場選手ポジション表に記入・署名確認して第二審判員または記録員に提出する。

6.1.2 試合中にタイムアウトおよび選手交代を要求する。コート外からコーチングを行うが、試合を妨害または遅延させてはならない。

6.1.3 試合中、コーチは自コート側の記録台に近いチームベンチに座る。

6.2 キャプテンとコート上のキャプテン

6.2.1 キャプテンはキャプテンマークを付け、試合前に本チームを代表してコイントスを行い、記録表に署名する。

6.2.2 試合中にキャプテンがコート上にいる場合、キャプテンがコート上のキャプテンを担当する。キャプテンが交代でコートを離れた場合は、コーチまたはキャプテンが別のコート上のキャプテンを指定する。

6.2.3 コーチが不在の場合、コート上のキャプテンは試合中に選手交代とタイムアウトを要求できる。

6.2.4 コート上のキャプテンのみがデッドボール時に審判員に要求できる：

6.2.4.1 規則の執行について解釈を求める。ただし第一審判員が解釈した後は、審判員と議論・抗争してはならず、そうでなければそのチームは「試合遅延」（規則17.1.5・規則17.2参照）と判定される。

6.2.4.2 チームメンバーが提起した問題と要求を伝える。

6.2.4.3 審判員の解釈に納得できない場合は抗議を宣言し、直ちに第一審判員に申告して、試合終了後に正式な抗議を記録表に書く権利を保留することができる。

6.2.5 試合終了後に審判員に感謝し、記録表に署名する。

第 3 章

PLAYING FORMAT

試合方式

7 得点方式

試合はラリーポイント制を採用し、1ラリー勝利につき1点を得る。

7.1 試合の勝利

試合は3局2勝制を採用し、2局を先取したチームが試合に勝利する。1対1の場合は決勝局（第3局）を行う。

7.2 1局の勝利

第1局・第2局は先に21点を取り、かつ相手より2点多いチームが1局に勝利する。20対20になった場合は、いずれかのチームが2点リードするまで（22対20、23対21……）試合を継続する。

決勝局は先に15点を取り、かつ相手より2点多いチームが勝利する。14対14になった場合は、いずれかのチームが2点リードするまで（16対14、17対15……）試合を継続する。

7.3 得点

7.3.1 ボールが相手コートに正規着地した場合。

7.3.2 相手チームが反則した場合。

7.3.3 相手チームがペナルティを受けた場合。

7.4 棄権と陣容不完全

7.4.1 あるチームが召集されて試合を拒否した場合、そのチームを棄権と宣告し、相手チームが各局21対0・試合2対0で勝利する。

7.4.2 あるチームが正当な理由なく時間通りに競技会場に到着しない場合、そのチームを棄権と宣告し、規則7.4.1に従い処理する。

7.4.3 あるチームが1局または1試合の陣容が不完全と宣告された場合、その局または試合を負けとし、相手チームに1局または1試合を勝利するために必要な点数と局数を与える。陣容不完全のチームは取得した点数と局数を保持する。

8 試合の組織

8.1 コイントス

試合開始前および決勝局開始前に、第一審判員が両チームのキャプテンを集めてコイントスを行う。

8.1.1 コイントスの勝者は以下のいずれかを選択する：

- サーブまたはレシーブ。
- コート。

8.1.2 敗者が残りの選択肢から選ぶ。

8.2 ウォームアップ

試合開始前に、両チームはそれぞれ自コートでネット練習を5分間または10分間行う。

8.3 開始陣容

8.3.1 各チームは常にコート上に5名の選手（五人制）または4名の選手（四人制）の試合陣容を保ちなければならない。チームのローテーション順序はポジション表に登録された順序に従って行う。

8.3.2 ポジション表を第二審判員または記録員に提出した後は、正規の選手交代を除き、陣容を変更できない。

8.3.3 1局開始前に、コート上の選手のポジションがポジション表と一致しない場合は、ポジション表に従い修正し、ペナルティは行わない。

8.4 コート上のポジション

サーバーがボールを打つとき、サーバー以外の両チームの選手は自コート内でローテーション順序に従ったポジションに立たなければならない。（図2・図3参照）

8.4.1 四人制の試合選手ポジション：図2に示すように、ネット寄りの2番ポジション（右）・3番ポジション（左）の2名が前衛選手、他の2名は1番ポジション（右）・4番ポジション（左）が後衛選手である。1番ポジションの選手は2番ポジションの選手と同列、3番ポジションの選手は4番ポジションの選手と同列。

8.4.2 五人制の試合選手ポジション：図3に示すように、ネット寄りの2番ポジション（右）・3番ポジション（中）・4番ポジション（左）の3名が前衛選手、他の2名は1番ポジション（右）・5番ポジション（左）が後衛選手である。1番ポジションの選手は2番ポジションの選手と同列、4番ポジションの選手は5番ポジションの選手と同列。

8.4.3 選手のポジションが正しいかどうかは、その足の接地部位によって判定する。

8.4.3.1 同列の前衛選手は少なくとも一方の足の接地部位がセンターラインにより近い。五人制の前衛3番ポジションの選手と後衛選手の間にポジション関係はない。

8.4.3.2 同列選手のポジション：四人制の前衛右（左）側選手は少なくとも一方の足の接地部分が、同列の後衛右（左）側選手の両足より右（左）サイドライン寄りでなければならない。後衛右（左）側選手は少なくとも一方の足の接地部分が、同列の他の左（右）側選手の両足より右（左）サイドライン寄りでなければならない。五人制の前衛右（左）側選手は少なくとも一方の足の接地部分が、同列の中間選手の両足よりサイドライン寄りでなければならない。後衛右（左）側選手は少なくとも一方の足の接地部分が、同列の他の左（右）側選手の両足より右（左）サイドライン寄りでなければならない。

8.4.3.3 サーバーがボールを打った後、サーブチームの他の選手は自コート内のいかなる位置にいてもよい。レシーブチームの選手はローテーション順序に従ってポジションに立たなければならない（規則8.4.1・8.4.2）。

8.5 ポジションエラー

8.5.1 サーバーがボールを打つとき、いずれかの選手が正しいポジションにいない場合、ポジションエラーの反則となる。

8.5.2 サーバーのボールを打つ際の反則と相手のポジションエラーが同時に発生した場合は、サーブ反則と判定する。

8.5.3 サーバーがボールを打った後の反則と相手のポジションエラーが同時に発生した場合は、ポジションエラーの反則と判定する。

8.5.4 ポジションエラーのペナルティは以下のとおり：

8.5.4.1 そのチームは1点を失い、相手チームがサーブを行う。

8.5.4.2 選手は正しいポジションに戻らなければならない。

8.6 ローテーション

8.6.1 ローテーション順序・サーブ順序・選手ポジションの確定はいずれもポジション表を基準とする。

8.6.2 あるチームが得点し同時にサーブ権を得た場合、全選手は時計回りに1ポジションローテーションしなければならない。2番ポジションの選手がローテーションして1番ポジションでサーブを行う。

8.6.3 相手チームがペナルティを受けてそのチームが1点を得た場合、そのチームは得点後もローテーションを行わなければならない。そのサービングラウンドの元のサーバーはサーブを行わず、ローテーション順序に従って次のサーブ選手がサーブを行う。

8.7 ローテーションエラー

8.7.1 ローテーション順序に従わないサーブはローテーションエラーとし、順序に従い以下のペナルティを行う：

8.7.1.1 そのチームは1点を失い、相手チームがサーブを行う。

8.7.1.2 選手の誤ったローテーション順序を修正しなければならない。

8.7.2 記録員はエラーがいつ発生したかを正確に確定し、そのチームの自反則発生後に得た全得点を取り消さなければならない。相手チームの得点は引き続き有効とする。エラー発生時間を確定できない場合は、1点を失うのみとし、相手チームがサーブを行う。

第 4 章

PLAYING ACTIONS

試合行為

9 試合の状態

9.1 試合開始

第一審判員が笛を吹いてサーブを許可し、サーバーがボールを打った瞬間が試合の開始である。

9.2 試合中断

審判員が笛を吹くと試合が中断する。試合中に反則が発生したために審判員が笛を吹く場合、中断は反則が発生した瞬間である。

9.3 インボール

ボールがコート の 地面（ラインを含む）に触れるとインボールである。

9.4 アウトボール

以下 の 場合 は アウトボール である：

9.4.1 ボールが接触した地面の部分が完全にライン外側にある場合。

9.4.2 ボールがコート外の物体・天井または非コート上の関係者などに触れた場合。

9.4.3 ボールがアンテナおよびアンテナ以外のネット・網縄・支柱に触れた場合。

9.4.4 ボール全体がネット下を通過した場合。

9.4.5 ボールの全部または一部が非ネット通過空間を通過してネット垂直面を越えた場合。

10 サーブ

後衛右側（1番ポジション）の選手がサービスゾーン内でボールを打って試合に入れる行動をサーブという。

10.1 最初のサーブ

10.1.1 第1局と決勝局はコイントスで選択されたサーブ権を持つチームが最初にサーブを行う。

10.1.2 第2局は前の局で最初にサーブしなかったチームがサーブを行う。

10.2 サーブ順序

10.2.1 選手のサーブ順序はポジション表の順序に従って行う。

10.2.2 1局の最初のサーバーの後、選手は以下の規定に従ってサーブを行う：1ラリーに勝利した時は必ずローテーションしてサーブを行い、後衛右側（2番ポジション）の選手がローテーションして1番ポジションでサーブを行う。

10.3 サーブの許可

第一審判員はサーバーがボールを手に持ち、かつ両チームが試合準備を整えた時に笛を吹いてサーブを許可する。

10.4 サーブの執行

10.4.1 ボールを投げ上げるかまたは手を離した後、ボールが着地する前に、片手または腕でボールを打つ。

10.4.2 サーブ前にボールを手の中で動かしたり叩いたりすることは許可される。

10.4.3 サーバーはサーブ時、エンドラインおよびサービスゾーン以外の地面を踏んではならない。

10.4.4 ジャンプサーブの助走時、足がジャンプサーブ制限線を踏んだり越えたりしてはならない（規則14.2.2の除外を除く）。空中でボールを打った後、足はどこに着地してもよい。

10.4.5 サーバーは第一審判員が笛を吹いてから8秒以内にボールを打ち出さなければならない。

10.4.6 サーバーがボールを投げ上げてボールがサーバーに触れずに落下した場合、8秒のカウントが終わっていなければ再度サーブを行うことができる。審判員が再度笛を吹いてサーブを許可する必要はない。

10.4.7 サーバーが審判員のサーブ許可の笛と同時にそれより前にサーブした場合、そのサーブは無効とし、再度サーブを行う。

10.5 サーブスクリーン

10.5.1 サーブチームの選手は個人または集団のスクリーン行為（腕を振る・ジャンプする・左右に移動する・密集して立つなど）によって、相手チームがサーバーのヒット動作とボールの飛行経路を観察するのを妨げてはならない。

10.5.2 サーブ時、サーブチームのいかなる選手も、ボールがネットを越える前に手を頭より高く挙げてはならない。

10.6 サーブ時の反則

10.6.1 サーブ反則

以下の反則はサーブ反則と判定してサーブを交代する（たとえ相手のポジションエラーが同時に発生していても）。サーブチームが：

10.6.1.1 サーブ順序を誤った場合。

10.6.1.2 「サーブの執行」（規則10.4参照）の規定を遵守しなかった場合。

10.6.2 サーブ後の反則

ボールが打ち出された後、以下の状況はサーブ反則と判定する（規則10.7.2の除外を除く）：

10.6.2.1 ボールがサーブチームの選手に触れるか、またはボール全体がネットの垂直面を通過しなかった場合。

10.6.2.2 アウトボールの場合。

10.6.2.3 ボールがサーブスクリーンを行っている個人または集団を越えた場合。

10.7 サーブ反則とポジションエラー

10.7.1 サーブ反則（規則10.6.1参照）と相手のポジションエラーが同時に発生した場合は、サーブ反則と判定する。

10.7.2 サーブ後の反則（規則10.6.2参照）と相手のポジションエラーが同時に発生した場合は、ポジションエラーの反則と判定する。

11 試合中のボールへの接触

試合中の選手とボールへのいかなる接触もヒットとみなす。選手は自コートとフリーゾーンの空間内でボールを打たなければならない（規則15.3.1の除外を除く）。

11.1 チームのヒット

各チームは最大3回ヒットできる（規則15.4.1の除外を除く）。主動的なヒットも受動的なボール接触も同様にそのチームの1回のヒットとみなす。

11.1.1 連続ヒット

1名の選手が連続して2回ヒットしてはならない（規則11.2.3・15.2・15.4.2の除外を除く）。

11.1.2 同時接触

2名または3名の選手が同時に接触できる。

11.1.2.1 同チームの2名（または3名）の選手が同時にボールに触れた場合、2回（または3回）のヒットとみなす（ブロックの除外を除く）。その中の1名のみがボールに触れた場合は1回のみとなる。同チーム選手間の衝突は反則ではない。

11.1.2.2 異なるチームの選手がネット上で同時にボールに触れた場合、試合は継続し、得球した側はさらに3回ヒットできる。ボールがいずれかのコート外に落ちた場合、相手チームのヒットアウトとなる。

11.1.3 補助ヒット

選手がコート内で同伴者またはいかなる物体の支持を借りてヒットすることを補助ヒットという。選手は補助ヒットを行ってはならない。

11.2 ヒットの性質

11.2.1 ボールは身体のいかなる部位に触れてもよい。

11.2.2 ボールは必ず打ち出さなければならず、受け止めたり投げたりしてはならない。棒墊球（バンブ）・撈墊球・托墊球などの技術を使用する場合も同様である。

11.2.3 ヒット時（第1・2・3ヒットを含む）は、1つの動作の中で身体の異なる部位が連続して接触することが許可される。

11.3 ヒット時の反則

11.3.1 「四回ヒット」：1チームが連続して4回ボールに触れた場合。

11.3.2 「補助ヒット」：選手がコート内で同伴者またはいかなる物体の支持を借りてヒットした場合。

11.3.3 「ホールディング」：ボールを打ち出さず、受け止めたり投げたりした場合。

11.3.4 「ダブルコンタクト」：1名の選手が1つの動作でボールを2回連続ヒットするか、身体の異なる部位に連続して接触した場合（規則11.2.3・15.2・15.4.2の除外を除く）。

12 ネット付近のボール

12.1 ボールのネット通過

ボール全体はネット上空のネット通過空間を通過して相手コートに入らなければならない。ネット通過空間の範囲は：上は天井まで、下はネット上端まで、両側はアンテナおよびその延長線まで。

12.2 ボールのネット接触

ボールはネットを通過する際にネットに触れることができる。

12.3 ボールのネット侵入

ボールがネットに入った後、そのチームの3回のヒット内であれば再びヒットできる。

13 ネット付近の選手

13.1 相手空間への侵入

相手の試合を妨げない範囲で、選手はネット下を通過して相手空間に侵入することが許可される。

13.2 センターラインを越えての相手コートへの侵入

13.2.1 選手の片方（両方）の足の一部がセンターラインを越えて相手コートに触れる際、残りの身体部分の部分がセンターラインに接触するか、センターライン上空にある場合は許可され、反則ではない。

13.2.2 選手は足以外の身体のかなる部位も相手コートに触れてはならない。

13.2.3 試合中断時、選手は相手コートに入ることができる。

13.2.4 相手の試合を妨げない範囲で、選手は相手のフリーゾーンに侵入できるが、ヒットしてはならない。

13.3 ネット接触

13.3.1 選手がアンテナ以内のネットに触れるか、アンテナに触れると反則となる。

13.3.2 試合を妨げない範囲で、選手はヒット後にアンテナ以外のネット・網縄・支柱等のその他の物体に触れることができる。

13.3.3 ボールが打ち込まれてネットに入り、相手選手のネット接触を引き起こした場合は反則ではない。

13.4 ネット付近での選手の反則

13.4.1 相手のアタックヒット前またはヒット時に、相手空間でボールに触れるか、または相手選手に触れた場合。

13.4.2 ネット下を通過して相手空間に侵入し、相手の試合を妨げた場合。

13.4.3 足全体がセンターラインを越えて相手コートを踏んだ場合。

13.4.4 足以外の身体のかなる部位もセンターラインを越えて相手コートに触れた場合。

14 アタックヒット

14.1 アタックヒットの定義

14.1.1 サーブとブロック以外の、相手に向けて直接打つボールはすべてアタックヒットである。

14.1.2 アタックヒット時、吊り球（ドリブル）は許可されるが、ボールは明確に打ち出さなければならず、受け止めたり投げたりしてはならない。

14.1.3 ボール全体がネット垂直面を通過する（ネットに触れてから相手空間に入る場合を含む）か、または相手のブロック選手に触れた場合は、アタックヒット完了とみなす。

14.2 アタックヒットの制限

アタックライン後方（後衛エリア）から、選手はいかなる高さのボールもアタックヒットできるが、以下の例外がある：

14.2.1 ヒット時の踏切足がアタックラインを踏んだり越えてはならない（規則14.2.2の除外を除く）。

14.2.2 選手はアタックライン前（前衛エリア）でアタックヒットを完了できるが、ボールの飛行軌跡はヒット点より明らかに上向きの弧度で過網して相手コートへ向かわなければならない。

14.2.3 ヒット後の着地足は前衛エリアに入ってもよい。

14.2.4 接球選手はネット上端より高い相手のサーブに対してアタックヒットを完了できない。

14.3 アタックヒットの反則

14.3.1 相手空間でヒットした場合。

14.3.2 ヒットしてアウトになった場合。

14.3.3 後衛エリアからアタックヒットを完了したが、ボールの飛行軌跡がヒット点より高くなく、過網時に明らかな上向きの弧度がなかった場合（水平に過網した場合を含む）。

14.3.4 自コート内で自チームのネット上端より高い相手のサーブに対してアタックヒットを完了した場合。

15 ブロック

15.1 ブロック行為

15.1.1 ブロックの定義

ブロックとは選手がネット付近でネットより高い位置で相手から来るボールを阻止する行動であり、ボールの接触点がネットより高いかどうかは関係ない。

15.1.2 ブロック試図

ボールに触れないブロック行動はブロック試図という。

15.1.3 完成ブロック

ボールに触れたブロック行動は完成ブロックという。前衛選手のみが完成ブロックを行うことができる。

15.1.4 集体ブロック

2名または3名の選手が互いに近づいてブロックを行うことを集体ブロックという。その中の1名がボールに触れた時に完成ブロックとなる。

15.2 ブロックのボール接触

1つの動作の中で、ボールは1名または複数のブロック選手に迅速かつ連続して触れることができる。

15.3 相手空間への過網ブロック

15.3.1 ブロック選手は手をネット越しに伸ばすことが許可されるが、相手のヒットを妨げてはならない。過網ブロックのボール接触は相手がアタックヒットを完了した後でなければならない。

15.3.2 相手のボールがネット上方に向かってまだ過網していない時に、相手チームの選手がそのボールを打とうとしている場合は、過網ブロックを完成させてはならない。

15.4 ブロックとチームのヒット

15.4.1 ブロックのボール接触はチームの3回のヒットの1回としてカウントしない。

15.4.2 完成ブロック後は、ブロック時にすでにボールに触れていた選手を含む任意の選手が最初のヒットを行うことができる。

15.5 ブロックの反則

15.5.1 後衛選手が完成ブロックを行ったか、または完成ブロックの集体に参加した場合。

15.5.2 相手のサーブをブロックした場合。

15.5.3 ブロックしてアウトになった場合。

15.5.4 アンテナ外から相手空間に侵入してブロックした場合。

15.5.5 相手のアタックヒットと同時またはその前にボールに触れた場合。

15.5.6 相手のボールがネット上方に向かってまだ過網していない時に、相手チームの選手がそのボールを打とうとしている際に、本チームが完成ブロックした場合。

第 5 章

INTERRUPTIONS DELAYS AND INTERVALS

試合の中断・遅延・インターバル

16 正規の試合中断

正規の試合中断には「タイムアウト」と「選手交代」がある。

16.1 正規中断の回数

各局の試合中、各チームは最大2回のタイムアウトと6回の選手交代を要求できる。交代する選手はポジション制限を受けない。

16.2 中断の要求

16.2.1 デッドボール時に、審判員が笛を吹いてサーブを許可する前に、コーチまたはコート上のキャプテン（コーチ不在時）が正しいサインによって選手交代またはタイムアウトを要求する。

16.2.2 1局開始前にも選手交代の要求ができ、交代回数に算入される。

16.3 試合中断の連続

16.3.1 1回または2回のタイムアウトと両チームの各1回の選手交代を中間に試合を経ずに連続して行うことができる。

16.3.2 同一チームは試合を経ずに連続して選手交代の要求を出すことはできない。ただし同一の選手交代要求の中で1名または複数名を交代することができる。

16.4 タイムアウト

16.4.1 各タイムアウトの時間は30秒である。

16.4.2 タイムアウト中、試合チームはコートを離れてチームベンチ付近のフリーゾーンに行かなければならない。

16.5 選手交代

16.5.1 選手交代は必ず交代ゾーン内で行わなければならない。

16.5.2 選手交代はコーチまたはコート上のキャプテン（コーチ不在時）が要求する。交代時、控え選手はコートに入る準備ができていなければならない。

16.5.3 2名以上の選手を交代させる場合は、サインで交代回数を要求しなければならない。

16.6 特別交代

各局・各チームは最大6回の選手交代を行うことができる。

ある選手が負傷または病気で試合を継続できない場合は、合法的な選手交代を行わなければならない。合法的な選手交代ができない場合は、「特別交代」を行うことができる。特別交代の際は、ペナル

ティ退場または試合資格取り消しを受けた選手を除き、いかなる選手とも交代できる。ただし交代された選手は本試合に再出場できない。特別交代は選手交代の回数にカウントしないが、記録表に局・試合の選手交代総数として統計しなければならない。

選手が「ペナルティ退場」または「試合資格取り消し」となった場合は、合法的な選手交代を行わなければならない。合法的な選手交代ができない場合は「特別交代」を要求することができる。「特別交代」も行えない場合は、そのチームを「陣容不完全」と宣告する。

16.7 規定外の要求

16.7.1 以下の状況は規定外の要求である：

16.7.1.1 試合進行中または審判員が笛を吹いてサーブを許可した時またはその後に要求した場合。

16.7.1.2 要求権のない関係者が要求した場合。

16.7.1.3 同一チームが試合を経ずに再度選手交代を要求した場合。

16.7.1.4 規定された正規中断の回数を超えた要求の場合。

16.7.2 試合中に影響・遅延を引き起こさなかった最初の規定外要求は、ペナルティなしに拒否する。

16.7.3 同一試合中に再度規定外の要求を出した場合は、試合遅延と判定する。

17 試合遅延

17.1 試合遅延の行為

チームが試合の継続を引き延ばす不当な行為を試合遅延という。以下の行為が含まれる：

17.1.1 選手交代に時間がかかりすぎる場合。

17.1.2 審判員が笛を吹いて試合を再開した後もタイムアウトを引き延ばす場合。

17.1.3 規定外の交代を要求した場合。

17.1.4 再度規定外の要求をした場合。

17.1.5 チームメンバーが試合の継続を引き延ばす場合。

17.2 試合遅延のペナルティ

17.2.1 「遅延警告」と「遅延ペナルティ」はチーム全体への試合遅延ペナルティである。

17.2.1.1 試合遅延のペナルティは全試合を通じて有効。

17.2.1.2 すべての試合遅延のペナルティは記録表に記録される。

17.2.2 1試合において、あるチームのメンバーによる最初の試合遅延には「遅延警告」を与える。

17.2.3 1試合において、同一チームのいかなるメンバーによるいかなる種類の2回目以降の試合遅延に対してもすべて「遅延ペナルティ」を与え、相手チームが1点を得てサーブを行う。

17.2.4 局前および局間の試合遅延ペナルティは次の局に記録される。

18 例外的な試合中断

18.1 負傷

18.1.1 試合中に重大な負傷事故が発生した場合、審判員は直ちに試合を中断し、医療関係者のコート入場を許可しなければならない。処置完了後に試合を再開する。

18.1.2 負傷した選手が合法的な選手交代も特別交代もできない場合は、負傷選手に5分間の回復時間を与える。1試合の中で同一選手への回復時間は1回のみ与えることができる。5分経っても試合ができない場合、そのチームは陣容不完全と宣告される（規則7.4.3参照）。

18.2 外因による試合中断

試合中にいかなる外部妨害が発生しても、試合を停止しその局を最初からやり直す。

18.3 遅延を余儀なくされた中断

18.3.1 何らかの予期せぬ状況が試合の進行に影響・支障をきたす場合は、第一審判員と大会管理委員会メンバーが共同で対処を決定し、試合が正常に回復するための措置を取る。

18.3.2 1回または数回の中断時間の合計が2時間を超えない場合：

18.3.2.1 同じ会場で試合を継続する場合、中断された局は元のスコア・元の選手・元のコート上のポジションを保持し、すでに終了した各局のスコアを保持する。

18.3.2.2 別の会場で試合を行う場合、中断された局は取り消すが、そのときの局の開始陣容とポジションを保持して試合を再開し、すべてのペナルティ記録を保留する。すでに終了した各局のスコアを保持する。

18.3.3 1回または数回の中断時間の合計が2時間を超えた場合は、全試合を最初からやり直す。

19 局間休憩とコート交換

19.1 局間休憩

第1局終了後は2分間休憩し、決勝局前は3分間休憩する。

19.2 コート交換

19.2.1 第1局終了後、試合チームはコートを交換する。

19.2.2 決勝局において、いずれかのチームが先に8点を取ったとき、両チームはコートを交換し、休憩なしで選手は元のポジションで試合を継続する。期限内にコート交換できなかった場合は、エラーが発見された時点でただちにコートを交換し、交換時の両チームのスコアを保持する。

第 6 章

MISCONDUCT

不正行為

20 不正行為及びペナルティ

20.1 軽微な不正行為

軽微な不正行為には処罰を行わないが、第一審判員はチームに処罰が科せられそうな行為が近づくことを防ぐ責任があり、以下のいずれかの形式で対処する。

2つの形式を使用する：

- 第一に、コート上のキャプテンに口頭警告を与える。
- 第二に、関係するメンバーにイエローカードを示す。処罰はないが記録表に記録し、その行為がすでに処罰される程度に近づいていることを警告する。

20.2 不正行為の処罰

チームメンバーの審判員・相手チーム・同チームまたは観客に対する不正行為は、程度に応じて3種類に分けて処罰する。

20.2.1 粗暴な行為

道徳的規範または文明的行動に反する行為。

20.2.2 冒瀆行為

誹謗または侮辱的な言語または形態、あるいはいかなる軽蔑の表現も含む行為。

20.2.3 侵犯行為

身体攻撃・侵犯または脅迫する行為。

20.3 不正行為の処理形式

20.3.1 軽微な不正行為

警告：処罰なし。

- 形式1：口頭警告。
- 形式2：イエローカード提示。

20.3.2 粗暴な行為

審判員がレッドカードを提示し、相手チームが1点を得てサーブを行う。

20.3.3 冒瀆行為

審判員がレッドカードとイエローカードを同時に持ち、その局の試合資格を取り消す。他のペナルティはない。ペナルティを受けたチームメンバーは本チームのチームベンチに座らなければならない。もしペナルティを受けたのがコーチの場合は、その局の指揮権を失う。

20.3.4 侵犯行為

審判員が両手でそれぞれレッドカード・イエローカードを持ち、その試合の試合資格を取り消し、競技会場を退場させる。他のペナルティはない。

20.4 ペナルティの実施

20.4.1 不正行為のペナルティは個人に対するものであり、全試合を通じて有効で、記録表に記録される。

20.4.2 同一メンバーが同一試合中に不正行為を繰り返した場合は、ペナルティ等級を1つ上げてペナルティし、そのメンバーへのペナルティを前回より重くする。

20.4.3 冒涇行為または侵犯行為に対する直接ペナルティは、事前のペナルティを必要としない。

20.4.4 コート上の選手がその局またはその試合の試合資格を取り消された場合は、直ちに合法的な選手交代を行わなければならない。合法的な選手交代ができない場合は、そのチームを「陣容不完全」と宣告する（規則7.4.3参照）。

20.4.5 局前および局間の不正行為は、規則20.2および20.3に従いペナルティし、次の局に記録される。

第7章

THE REFEREES THEIR RESPONSIBILITY AND OFFICIAL HAND SIGNALS

審判員の職責と公式サイン

21 審判員の構成

中国排球協会が主催する全国的な大会では、1試合の審判団は第一審判員1名・第二審判員1名・ラインジャッジ2名・記録員2名で構成される。その他の大会では主催者・主管者が実際の状況とニーズに応じて適切に調整することができる。

22 職務手順

22.1 試合中は第一審判員と第二審判員のみが笛を吹くことができる。

22.2 審判員は笛を吹いて試合を中断した後、直ちに公式サインで示さなければならない。

22.2.1 第一審判員が笛を吹いて試合を中断した場合、順番に示す：

22.2.1.1 得点したチーム。

22.2.1.2 反則の性質。

22.2.1.3 反則した選手（必要な場合）。

22.2.2 第二審判員が笛を吹いて試合を中断した場合、示す：

22.2.2.1 反則の性質。

22.2.2.2 反則した選手（必要な場合）。

22.2.2.3 第一審判員の後に続けて得点したチームを指示する。

第一審判員は反則の性質を示すサインと反則した選手を指示する動作を行う必要はなく、得点したチームを指示するだけでよい。

22.2.3 双方の反則の場合は、順番に示す：

22.2.3.1 反則の性質。

22.2.3.2 反則した選手（必要な場合）。

22.2.3.3 サーブを行うチーム。

23 第一審判員

23.1 位置

第一審判員は記録員の反対側のネット一端の審判台上で職務を遂行する。その水平視線はネット上端から50センチメートル高くなければならない。

23.2 権限

23.2.1 試合の最初から最後まで試合を主導し、すべての審判員とチームメンバーに対して権限を行使する。試合中のその判定は最終判定となる。他の審判員のエラーを発見した場合は、判定を変更する権限もあり、不称職の審判員を交代させる権限もある。

23.2.2 規則に規定のない問題を含む試合に関するすべての事項を判定する権限を持つ。

23.2.3 その判定はいかなる議論も許可しない。ただしコート上のキャプテンが要求を提起した場合、その判定の根拠となる規則とその執行について解釈を与えなければならない。コート上のキャプテンが解釈を受け入れず、直ちに試合終了後に抗議を記録表に書く権利を保留することを申告した場合は、これを許可しなければならない。

23.3 職責

23.3.1 試合前に、第一審判員は：

23.3.1.1 コート・器材および試合用ボールを検査する。

23.3.1.2 双方チームのキャプテンのコイントスを主宰する。

23.3.1.3 両チームのウォームアップ活動を管理する。

23.3.2 試合中に、第一審判員は以下の職責を持つ。

23.3.2.1 不正行為をした選手に警告を与える。

23.3.2.2 不正行為と試合遅延のペナルティを行う。

23.3.2.3 判定：

- a) サーブ反則とサーブ時のポジションエラー（サーブスクリーンを含む）。
- b) 試合中のヒット反則。
- c) ネットより高い位置とネット上部の反則。
- d) アタックヒット反則。
- e) 過網ブロック反則。
- f) ボールの全部または一部が非ネット通過空間を通過してネット垂直面を越えた場合。
- g) 後衛選手による完成ブロック。
- h) ネット下を通過してセンターラインを越えて相手コートへ侵入する反則。

23.3.3 試合後に記録表を確認して署名する。

24 第二審判員

24.1 位置

第二審判員はネットの反対側の第一審判員の対面に、コート外のネット柱付近に立ち、第一審判員に向かって職務を遂行する。

24.2 権限

24.2.1 第二審判員は第一審判員の補佐だが、独自の権限も持つ。第一審判員が職務を継続できない場合は、第一審判員に代わって職務を遂行する。

24.2.2 サインでその権限外の反則を示すことができるが、笛を吹いてはならず、第一審判員に自分の判断を主張してはならない。

24.2.3 記録台の管理を担当する。

24.2.4 チームベンチ上のチームメンバーを監督し、その不正行為を第一審判員に報告する。

24.2.5 試合のタイムアウトと選手交代の要求を許可し、中断時間を管理し、規定外の要求を拒否する。

24.2.6 各チームのタイムアウトと選手交代の回数を管理し、第2回目のタイムアウトと第4回目または第5回目の選手交代を第一審判員と関係コーチに通知する。

24.2.7 選手の負傷を発見したとき、そのチームの特別交代を許可するか、負傷した選手に5分間の回復時間を与える。

24.2.8 試合のコート（主に前衛エリア）を検査する。試合中はボールが試合の要求に合致しているかどうかを確認する。

24.3 職責

24.3.1 各局の開始と決勝局のコート交換後、および必要なときに、コート上の選手の実際のポジションがポジション表と一致しているかどうかを確認する。

24.3.2 試合中に、第二審判員は以下の反則について笛を吹いてサインを出す：

24.3.2.1 相手コートおよび相手ネット下方の空間への侵入。

24.3.2.2 レシーブチームのポジションエラー。

24.3.2.3 ブロック側の選手のネット接触反則、第二審判員側のアンテナへの接触。

24.3.2.4 後衛選手による完成ブロック、または集体ブロックへの参加。

24.3.2.5 ボールのコート外物体への接触。

24.3.2.6 ボールの全部または一部が非ネット通過空間を通過してネット垂直面を越えた場合。

24.3.2.7 第一審判員が観察困難なとき、ボールの地面への接触。

24.3.3 試合終了後に記録表に署名する。

25 記録員

25.1 位置

記録員は第一審判員の対面の記録台に、第一審判員に向かって職務を遂行する。

25.2 職責

25.2.1 記録員は試合前および各局前に：

25.2.1.1 規定の手順に従い、試合と試合チームに関する情報（選手の氏名・番号を含む）を記録し、双方のチームキャプテンとコーチの署名を取得する。

25.2.1.2 ポジション表に基づいて各チームの開始陣容を記録する。

25.2.2 記録員は試合中に：

25.2.2.1 得点を記録する。

25.2.2.2 各チームのサーブ順序を把握し、チームがサーブ順序について問い合わせた際は、タイムリーかつ正確にそのチームのサーバーに教える。サーブ順序のエラーを発見した場合は、サーバーがボールを打った後に直ちに審判員に通知する。

25.2.2.3 タイムアウトと選手交代の回数を把握・記録し、第二審判員に通知する。

25.2.2.4 規則に違反した中断要求について審判員に通知する。

25.2.2.5 各局終了時と決勝局においていずれかのチームが先に8点を取ったとき、タイムリーに審判員に通知する。

25.2.2.6 各種不正行為のペナルティと規定外の要求を記録する。

25.2.2.7 第二審判員の指示の下で、特別交代・回復時間・遅延された中断・外因による中断等のその他の事項を記録する。

25.2.2.8 局間休憩の時間を管理する。

25.2.3 記録員は試合終了後に：

25.2.3.1 試合の最終結果を記録する。

25.2.3.2 試合中に抗議が提起された場合、第一審判員の同意を得た後、キャプテンが関係する抗議の内容を記録表に書くことを許可する。

25.2.3.3 記録表に署名後、双方のチームキャプテンと審判員の署名を取得する。

26 ラインジャッジ

26.1 位置

2名のラインジャッジは2名の審判員の右側のコート角端、エンドラインとサイドラインの交点から0.5～1メートルの位置に立ち、それぞれ担当する一側のエンドラインとサイドラインを担当する。

26.2 職責

26.2.1 旗（40センチメートル×40センチメートル）で職責を遂行する：

26.2.1.1 ボールが担当するライン付近に落ちた時、「インボール」または「アウトボール」を示す。

26.2.1.2 ボールが人体に触れてアウトになった場合、「タッチアウト」を示す。

26.2.1.3 ボールがアンテナに触れたこと・ボールが非ネット通過空間を通過してネットを越えたことを示す。

26.2.1.4 サーブ時、コート内の他の選手の足がコート外に踏み出したことを示す。

26.2.1.5 サーブ選手の足の反則。

26.2.2 第一審判員が問い合わせた際は、必ずフラッグサインを繰り返す。

27 審判員の公式サイン（フラッグサイン）

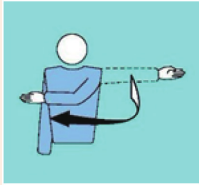
27.1 第一・第二審判員のサイン

審判員は必ず公式サインで笛を吹いた理由（反則の性質または試合中断を許可する目的など）を示さなければならない。サインは短時間提示する。もし片手で行うサインの場合は、反則したチームまたは要求したチームの側の手で示す（付録1参照）。

27.2 ラインジャッジのフラッグサイン

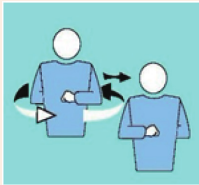
ラインジャッジは必ず公式フラッグサインで反則の性質を示し、短時間提示する（付録2参照）。

付録1 審判員サイン図



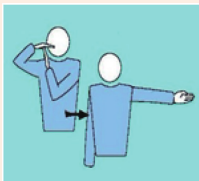
サーブ許可

サーブするチーム側の腕を振る



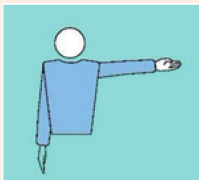
コート交換

両腕を体前・体後で体を中心に回す



得点・サーブチーム

サーブするチーム側の腕を水平に挙げる



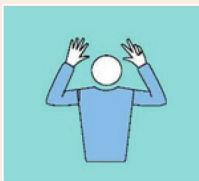
タイムアウト

一方の肘を曲げて挙げ、もう一方の手をその指先に乗せ、要求したチームを指す



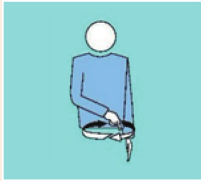
選手交代

両腕を肘の前で回す



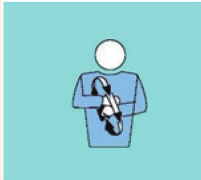
サーブ時にボール未投上

一方の腕をゆっくり挙げ、手のひらを上に向ける



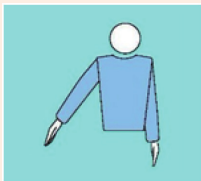
サーブ遅延

8本の指を挙げて広げる



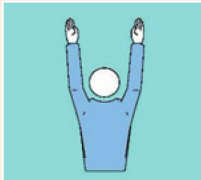
ポジションエラーまたはローテーションエラー

一方の人差し指を体前で回す



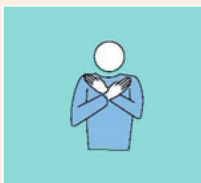
インボール

腕と手を斜めに地面へ向ける



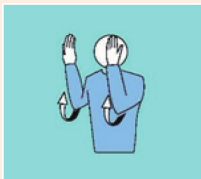
アウトボール

両腕を肘から挙げ、手のひらを後ろへ向ける



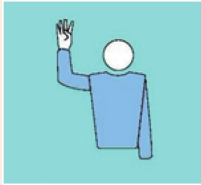
1局または全試合終了

両腕を胸前で交差する



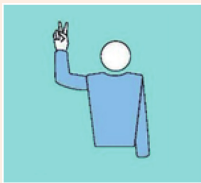
サーブスクリーンまたはブロック反則

両腕を挙げ、手のひらを前に向ける



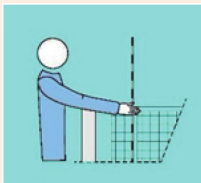
軽微な不正行為の警告

一方の手でイエローカードを持つ



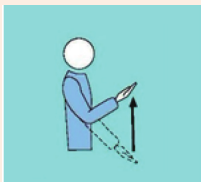
退場判定

一方の手でレッドとイエローカードを持ち、その局の試合資格を取り消す



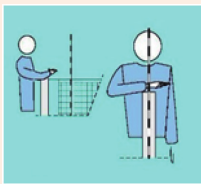
ホールディング

肘をゆっくり挙げ、手のひらを上に向ける



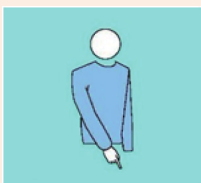
ダブルコンタクト

2本の指を挙げて広げる



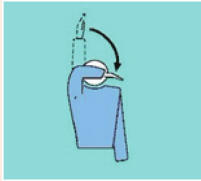
サーブ未過網と選手のネット接触

一方の手で反則したチーム側のネットに触れる



四回ヒット

4本の指を挙げて広げる



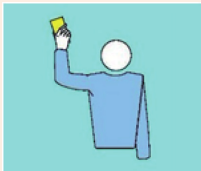
過網ヒットまたは過網ブロック

一方の手のひらを下に向け、前腕をネット上空に置く



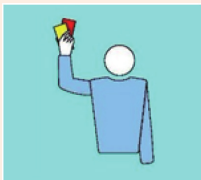
相手コートへの侵入・ネット下通過・サーブ時足反則

手指を中線または関係するラインへ向ける



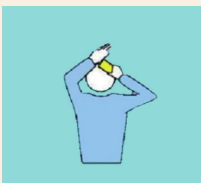
遅延警告

両腕を肘から挙げ、イエローカードで手首を指す



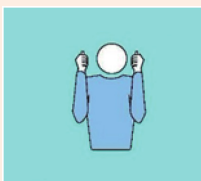
遅延ペナルティ

両腕を肘から挙げ、レッドカードで手首を指す



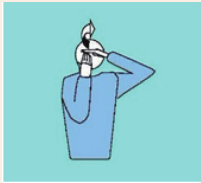
選手のアタックヒット反則（アタックライン踏み越え）

一方の腕を上へ挙げ、前腕を下へ振る



選手のアタックヒット反則（ネット付近）

一方の腕を上へ挙げる



タッチアウト

一方の手のひらでもう一方の肘から挙げた手の指先をこする



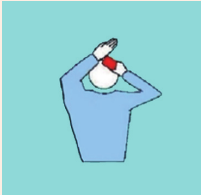
ペナルティ

一方の手でレッドカードを持ち、相手チームが1点を得てサーブを行う



試合資格取り消し

両手でそれぞれレッドとイエローカードを持ち、その試合の資格を取り消す



双方反則または再サーブ

両腕を肘から挙げ、親指を立てる

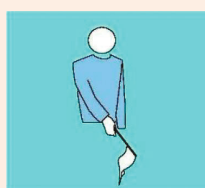
注：審判員サイン図は国際バレーボール連盟のバレーボール規則中の図を使用した。

付録2 ラインジャッジ フラッグサイン図



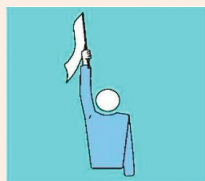
インボール

旗を下向きに示す



アウトボール

旗を上向きに示す



判定不可

両腕を胸前で交差する



タッチアウト

一方の手で旗を挙げ、もう一方の手を旗の先端に置く



サーブ時の足の反則・ネット通過時の反則・場外物体接触反則等

一方の手で旗を回し、もう一方の手でアンテナ・物体または関係するラインを指す

注：ラインジャッジ フラッグサイン図は国際バレーボール連盟のバレーボール規則中の図を使用した。

付録3 気排球試合記録表

附件 3 气排球比赛记分表

1. 四人制气排球比赛记分表

比赛名称:														日期: 年	
比赛队: A & B ○ VS A & B ○														组别:	
第一局 (A) 队名:				开始时间		第一局 (B) 队名:				结束时间					
场上位置	I	II	III	IV	:	场上位置	I	II	III	IV	:				
队员号码	1	2	3	4	换人比分	队员号码					换人比分				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
(S) (R)	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂停	(S) (R)	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂停				
发球轮次得分	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²	:	发球轮次得分	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²	:	发球轮次得分			
	8 ³	9 ³	10 ³	11 ³			8 ³	9 ³	10 ³	11 ³					
	12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴			12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴					
	16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵			16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵					
	20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶			20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶					
	24 ⁷	25 ⁷	26 ⁷	27 ⁷			24 ⁷	25 ⁷	26 ⁷	27 ⁷					
	28 ⁸	29 ⁸	30 ⁸	31 ⁸			28 ⁸	29 ⁸	30 ⁸	31 ⁸					
第三局 ○ 队名:				开始时间		第三局 ○ 队名:				结束时间					
场上位置	I	II	III	IV	:	场上位置	I	II	III	IV	:				
队员号码					换人比分	队员号码					换人比分				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
换人号码					:	换人号码					:				
(S) (R)	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂停	(S) (R)	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂停				
发球轮次得分	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²	:	发球轮次得分	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²	:	发球轮次得分			
	8 ³						8 ³	9 ³	10 ³	11 ³					
							12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴					
							16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵					
							20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶					
判罚	警告	判罚	判罚出场	取消比赛资格	(A) or (B)	局	比分	(A) 比赛结果 (B)							
							:	换人	暂停	胜负	得分	局	时间	得分	胜
							:					1 局 ()			
							:					2 局 ()			
							:					3 局 ()			
						:					合计 ()				
符号说明: C=主教练, 号码=队员, 栏内填写D=延误比赛					不符合规定的请求	队名 (A)	队名 (B)	胜队: 2 :							

三 月 日/时间 : 性别:男□女□					气排球比赛记分表																																										
阶段: 场序: 场地:					(四人制)																																										
第二局	Ⓑ队名:				开始时间	第二局	Ⓐ队名:				结束时间																																				
场上位置	I	II	III	IV	:	场上位置	I	II	III	IV	:																																				
队员号码					换人比分	队员号码					换人比分																																				
换人号码					:	换人号码					:																																				
换人号码					:	换人号码					:																																				
换人号码					:	换人号码					:																																				
换人号码					:	换人号码					:																																				
Ⓢ Ⓡ	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂 停	Ⓢ Ⓡ	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂 停																																				
	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²			4 ²	5 ²	6 ²	7 ²																																					
	8 ³	9 ³	10 ³	11 ³	:		8 ³	9 ³	10 ³	11 ³	:																																				
发球轮次	12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴	:	发球轮次	12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴	:																																				
得分	16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵	:	得分	16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵	:																																				
	20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶	:		20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶	:																																				
	24 ⁷	25 ⁷	26 ⁷	27 ⁷	:		24 ⁷	25 ⁷	26 ⁷	27 ⁷	:																																				
	28 ⁸	29 ⁸	30 ⁸	31 ⁸			28 ⁸	29 ⁸	30 ⁸	31 ⁸																																					
第三局	○队名:				换场比分	A & B ○		A & B ○																																							
场上位置	I	II	III	IV	:	号码	姓 名		号码	姓 名																																					
队员号码					换人比分																																										
换人号码					:																																										
换人号码					:																																										
换人号码					:																																										
换人号码					:																																										
	0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	暂 停																																										
	4 ²	5 ²	6 ²	7 ²																																											
	8 ³	9 ³	10 ³	11 ³	:																																										
发球轮次	12 ⁴	13 ⁴	14 ⁴	15 ⁴	:																																										
得分	16 ⁵	17 ⁵	18 ⁵	19 ⁵	:	队长			队长																																						
	20 ⁶	21 ⁶	22 ⁶	23 ⁶	:	教练			教练																																						
签 字 <table border="1"> <tr> <td>负</td> <td>暂停</td> <td>换人</td> <td>第一裁判员</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>第二裁判员</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>记 录 员</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>司 线 员</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>司 线 员</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>队长签名 Ⓐ</td> <td></td> <td>Ⓑ</td> </tr> </table>						负	暂停	换人	第一裁判员						第二裁判员						记 录 员						司 线 员						司 线 员						队长签名 Ⓐ		Ⓑ	备 注					
						负	暂停	换人	第一裁判员																																						
									第二裁判员																																						
									记 录 员																																						
									司 线 员																																						
									司 线 员																																						
			队长签名 Ⓐ		Ⓑ																																										

2. 五人制气排球比赛记分表

比赛名称:														日期:			
比赛队: A or B ○														VS A or B ○		组别:	
第一局		(A) 队名:					开始时间		第一局		(B) 队名:					结束时间	
场上位置		I	II	III	IV	V	:		场上位置		I	II	III	IV	V	:	
队员号码							换人比分		队员号码							换人比分	
换人号码							:		换人号码							:	
							:										
							:										
							:										
							:										
(S) (R)		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停		(S) (R)		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停	
发球轮次 得分		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:		发球轮次 得分		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:	
		10 ³	11 ³	12 ³	13 ³	14 ³	:										
		15 ⁴	16 ⁴	17 ⁴	18 ⁴	19 ⁴	:										
		20 ⁵	21 ⁵	22 ⁵	23 ⁵	24 ⁵	:										
		25 ⁶	26 ⁶	27 ⁶	28 ⁶	29 ⁶	:										
		30 ⁷	31 ⁷	32 ⁷	33 ⁷	34 ⁷	:				30 ⁷	31 ⁷	32 ⁷	33 ⁷	34 ⁷	:	
第三局		○ 队名:					开始时间		第三局		○ 队名:					结束时间	
场上位置		I	II	III	IV	V	:		场上位置		I	II	III	IV	V	:	
队员号码							换人比分		队员号码							换人比分	
换人号码							:		换人号码							:	
							:										
							:										
							:										
							:										
(S) (R)		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停		(S) (R)		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停	
发球轮次 得分		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²		:		发球轮次 得分		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:	
							:										
							:										
							:										
							:										
							:				25 ⁶	26 ⁶	27 ⁶	28 ⁶	29 ⁶	:	
判罚	警告	判罚	判罚出场	取消比赛资格	(A) or (B)	局	比分	(A) 比赛结果 (B)									
							:	换人	暂停	胜负	得分	局 时 间	得分	胜负	暂停		
							:					1 局 ()					
							:					2 局 ()					
							:					3 局 ()					
						:					合计 ()						
符号说明: C=主教练、队员=号码、D=延误比赛				不符合规定的请求 (A) 队 (B) 队名				胜队: 2:									

年 月 日/ 时间: : 性别:男 ☐ 女 ☐						气排球比赛记分表 (五人制) 													
阶段: 场序: 场地:																			
第二局		Ⓑ 队名:					开始时间		第二局		Ⓐ 队名:					结束时间			
场上位置		I	II	III	IV	V	:		场上位置		I	II	III	IV	V	:			
队员号码							换人比分		队员号码							换人比分			
换人号码							:		换人号码							:			
							:												
							:												
							:												
							:												
Ⓢ Ⓡ		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停		Ⓢ Ⓡ		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停			
发球轮次		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:		发球轮次		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:			
得分		10 ³	11 ³	12 ³	13 ³	14 ³	:		得分		10 ³	11 ³	12 ³	13 ³	14 ³	:			
		15 ⁴	16 ⁴	17 ⁴	18 ⁴	19 ⁴	:				15 ⁴	16 ⁴	17 ⁴	18 ⁴	19 ⁴	:			
		20 ⁵	21 ⁵	22 ⁵	23 ⁵	24 ⁵	:				20 ⁵	21 ⁵	22 ⁵	23 ⁵	24 ⁵	:			
		25 ⁶	26 ⁶	27 ⁶	28 ⁶	29 ⁶	:				25 ⁶	26 ⁶	27 ⁶	28 ⁶	29 ⁶	:			
		30 ⁷	31 ⁷	32 ⁷	33 ⁷	34 ⁷					30 ⁷	31 ⁷	32 ⁷	33 ⁷	34 ⁷				
第三局		○ 队名:					换场比分		A & B ○		A & B ○								
场上位置		I	II	III	IV	V	:		号 码		姓 名		号 码		姓 名				
队员号码							换人比分												
换人号码							:												
							:												
							:												
							:												
							:												
发球轮次		0 ¹	1 ¹	2 ¹	3 ¹	4 ¹	暂停												
		5 ²	6 ²	7 ²	8 ²	9 ²	:												
		10 ³	11 ³	12 ³	13 ³	14 ³	:												
		15 ⁴	16 ⁴	17 ⁴	18 ⁴	19 ⁴	:												
		20 ⁵	21 ⁵	22 ⁵	23 ⁵	24 ⁵	:		队长		队长								
		25 ⁶	26 ⁶	27 ⁶	28 ⁶	29 ⁶			教练		教练								
签 字										备 注									
换人	第一裁判员																		
	第二裁判员																		
	记 录 员																		
	司 线 员																		
	司 线 员																		
	队长签字	Ⓐ				Ⓑ													